

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	熊本県球磨郡あさぎり町
共同提案者名	株式会社あさぎりエナジー、あさぎり町有機センター（運営：株式会社親和コンサルタント）、あさぎり町地域づくり協同組合、株式会社あさぎり商社、株式会社熊本銀行、株式会社肥後銀行、一般社団法人熊本環境革新支援センター
選定回	第3回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	農業振興（畑作）・畜産酪農振興
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携・地域間連携（他の市区町村との太陽光パネル共同購入）
需要家・エリア設定	特定行政区等の全域・農林水産施設
創出する再エネの種類・導入技術等	太陽光発電（営農型）・高度なエネマネ（VPP、DR、MG、大型蓄電池等）（大型蓄電池）・その他（クレジット化）

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{17,329,768}{1,604,640} (\%) + \frac{0}{0} (\%) \right) \div 9,259,443 \text{ (kWh/年)} = 17 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	1,437	6,828,624					0			
	その他							0			
民生・業務その他	オフィスビル	1	58,536					0			
	商業施設	8	468,288	98,688	98,064			196,752			
	宿泊施設							0			
	その他	6	351,216	33,660	72,828			106,488			
公共	公共施設	9	916,266	638,400	278,178			916,578			
	その他	5	636,513	285,600	99,222			384,822			
合計			9,259,443	1,056,348	548,292	0	0	1,604,640	0	0	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
	138	1085	115						1,338

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
28	68	100	100	100	100

2-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		15,609,501	16,250,904	72,557,327	92,381,327	113,308,037	113,308,037	113,308,037	113,308,037
	累計		15,609,501	31,860,405	104,417,731	196,799,058	310,107,095	423,415,132	536,723,169	650,031,205
実績	単年度		4,641,592	14,654,158	34,498,716					
	累計		4,641,592	19,295,750	53,794,466					

2-2.個別KPIの進捗状況

■指標1：バイオ炭利用農家数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	10	10	20	20	20	20
	累計		0	0	10	20	40	60	80	100
実績	単年度		0	0	3					
	累計		0	0	3					

実績詳細	<p>バイオ炭については、令和6年度より放置竹林再生協議会の協力を得て、竹を材料として試験製造を開始。可搬式の簡易炭化器でどのくらいの炭が製造できるかの確認を行い、製造した炭を農家に試験的に使用してもらう段階に至っている。令和7年度実績としては、稲作施用が2件、野菜施用が1件。また、町と連携協定を締結している(株)ツムラと共同で薬草への施用効果検証も今後予定されており、バイオ炭施用が広がれば、町を越えて人吉球磨地域内の広い範囲への波及が見込まれるところ。</p>
------	---

■指標2：荒廃農地の再生面積

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	1	1	1	1	1	1
	累計		0	0	1	2	3	4	5	6
実績	単年度		0	0	0					
	累計		0	0	0					

実績詳細	<p>岡原小学校の学童農園について、地権者及び学校の承認を得た。 令和7年度の完工に向けて、町内事業者と営農の調整を進めている。</p>
------	--

■指標3：非常時電源容量

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		420	1385	835	750	535	220	220	220
	累計		420	1805	2640	3390	3925	4145	4365	4585
実績	単年度		145	955	240					
	累計		145	1100	1340					

実績詳細	<p>令和7年度中に、町内全公共施設における蓄電池の整備を終える予定。（先行地域内においては整備済） また、令和7年度以降、相対電源用で比較的大規模に導入する案件において、現状使用している蓄電池と同性能かつ安価な蓄電池の活用を検討している。これにより、当初事業費と同額でより大規模に蓄電池を導入できる見込みである。</p>
------	---

3.横展開の可能性について

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

<自治体外>

本町で検討を開始したソーラーカーポートについては、(株)あさぎりエナジーの関連会社への横展開が進み、他地域でのソーラーカーポートの導入が決定しており、他地域への展開が進んでいる。ソーラーシェアリングの導入を進める上で把握できた農家のニーズを踏まえ、(株)あさぎりエナジーの関連会社へのノウハウ展開がなされており、本町と同様の産業構造を持つ北海道十勝地方の更別村や球磨村におけるソーラーシェアリングの導入検討に反映されている（更別村では機械化が進む農業における課題を踏まえて垂直型のソーラーシェアリングの導入検討としていることや、球磨村では荒廃農地だけではなく現在営農中の漢方栽培農家への展開検討などが横展開の内容）。

<自治体内>

地域レジリエンス補助金を活用し、令和7年度中に町内全公共施設への蓄電池付太陽光発電設備の設置を終える予定。
また、民間事業者に対しては、町内保育所長会議等において、あさぎりエナジーから導入の呼びかけを進めている状況。
先行地域外の町民から土地活用や再エネ導入についての相談が来るなど、先行地域外での再エネ導入に関する意識が高まってきている。（現在までに、あさぎりエナジーに対して15件の相談があっている）

4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

令和6年3月に策定した『第3次あさぎり町総合計画』に掲げる地域ビジョン及びそれに向けた基本目標に、脱炭素先行地域の計画内容が位置づけられている。
基本目標とそれに関連する脱炭素先行地域事業の具体的な関連は以下の通りである。

【将来像】

人が集い 支え合う 未来へつなぐ「あさぎり町」

【基本目標3：未来へつなぐまち】

5. 脱炭素、再生エネルギー導入の推進

【基本計画・基本施策】

3-1 (1) 温室効果ガスの排出量の削減（町の施設における二酸化炭素排出削減、再生可能エネルギーの推進等）